

第10回全日本少年大会 神野SC初出場でベスト16!

第10回全日本少年大会は7月28日から8月2日まで、東京読売サッカー場で、全国各都道府県代表48チームが参加して行われ、清水FCとFC邑楽が優勝した。兵庫県代表の神野少年サッカークラブは初出場ながらベスト16に入る健闘を見せた。

神野SCは一次リーグで強豪府ロクSCC(東京)に敗れたものの残る4チームに全て快勝、グループ2位で念願の決勝トーナメントへ進出した。しかし、決勝トーナメント1回戦で優勝候補の船橋FC(千葉)と対戦、レフリーの微妙な判定で不運な1点を失うハプニングもあり1-2で涙のんだ。

全日本少年大会県大会で神野SCは結成8年目にして武庫川FCを1-0で降し初優勝、全国大会へ出場を決めた。本大会では、昨年出場した西宮SCの活躍で(ベスト8進出)シードされ戦いやすい組に入った。とはいえ6チーム中、上位2チームに入らなければ決勝トーナメントに進出はできない。そのためには少なくとも勝ち点7は上げないと苦しくなる。

諸戦で日詰サッカー少年団を2-0で圧勝し思い切りの良いスタートを切った。続く府ロクSC戦では前半のチャンスを生かせず苦戦、後半疲れが見られたのか、続けて失点し大敗を喫してしまった。しかし、この敗戦で奮起し、第3戦で大松サッカー少年団(徳島)を5-1、第4戦で井波町サッカースポーツ少年団(富士)を3-1、第5戦で高良FC

(沖縄)を6-2で破り決勝トーナメントへ進出した。

▶決勝トーナメント1回戦(7月31日)

神野SC 1 { 1-1 } 2 船橋FC { 0-1 }

船橋FCは選抜チームで清水FCと並ぶ優勝候補である。これに対し神野SCは単一校クラブでどう挑戦するか興味を持たれた。立ち上がりから神野SCは一步もひけをとることなく堂々と対戦、好ゲームが期待されたが7分、船橋FCのFKがバーに当たったと思われたのが得点と認められて不運な失点でリードされた。それにもくじけず9分に寺川からのクロスパスを猪股が強烈なシュートで同点に追いつき前半を終えた。後半もよくがんばったが8分船橋FCにゴール前混戦から得点され、再びリードされた。その後も何度かシュートを試みるが不運にも得点ならずベスト8を目前に敗れた。なお、主将の寺川が優秀選手に選ばれた。



ベスト16入りを果たした神野SCイレブン

兵庫県大会決勝で御影を延長の末3対1と破って、8月2日から山口県で行われた全国高校総体大会に駒を進めた滝川第二高校は、1回戦の壁をやぶって2回戦に進出、1月8日全国選手権大会決勝で、清水市商と優勝を争った四日市中央工と対戦、予想をくつがえして、2対1と降す大健闘をみせた。

高校総体県大会に優勝して

滝川第二高校監督 黒田 和

“県制覇”を目標に創部以来練習に励んできたが、3年目で全国総体出場権を獲得できた事を部員、学校関係者一同で喜こんでいる。特に、正月の全国選手権出場の際の胸を借り、勝利を得たことが一番の収穫であり、この勝利が選手の大きな自信になると確信している。昨年の総体、選手権予選での敗退で、チーム力の充実を感じながらも、こころの勝利の困難さを嫌という程知らされ、表面にはさ程表れなかったが、何とか勝てるだろうという甘さの克服を課題に練習を計画してきた。その結果、春先の兵庫招待、遠征等でそれなりの戦績を残し、これならいけるとの確信を持つことが出来た。

ところが、総体予選が始まる頃には調子が下降気味で、諸戦から思ったように得点ができず、特に準々、準決勝と苦しいゲームを展開し、やっと決勝まで進んだ状態だった。

決勝は御影なので選手が特に発奮するとは思っていたが、御影は一戦毎に調子を上げていたし、一方私達の方は調子が今一步と不安材料のある決勝進出であった。開始早々は非常に動きが鈍く、先取点を取られましたが、この一点で緊張がほぐれたのかそれまでのゲーム運びと一転して我々の不安を吹きとばす様なゲームを見せてくれた。特に延長に入ってから選手の気力の充実到我々は選手の成長を見た思いがした。

滝川第二高校が全国総体大会に出場し、兵庫県のレベルアップの一翼を担わせて頂けることを感謝すると共に、御支援、御指導下さいました方々に深く感謝致します。来たる全国総体では憶する事なく、全力を尽して頑張りたいと思います。

昭和61年度 全国高校総体大会結果



神戸市社会人運営会議予定 次回 11月20日(木)

12月18日、1月22日、2月19日、3月12日、3月19日。いずれも18時30分から王子登山研修所。社会人リーグに参加している各チームの代表者が必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10 三木記念神戸市立スポーツ会館内 神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユ-ハイム

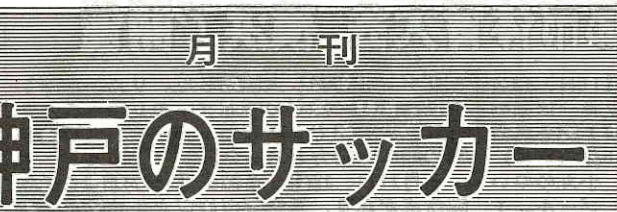
第16回サマー・フェスティバル

神戸の真夏のサッカー祭——第16回ジュニア・サマー・フェスティバルは、8月23日から25日まで、神戸市立中央球技場ほか市内7会場で行われた。今年は中3以下の部、中1以下の部、小6以下の部、小5以下の部、小4以下の部の5部門に計46チームが参加して、一次リーグの後、上位あるいは下位トーナメントを戦った。

その結果、中3以下の部では、広島大河FCが、中1以下と小4以下の2部門で清水FCが、小6以下と小5以下の2部門で藤枝FCが、それぞれ優勝した。

中3以下の部は、今年から始まった全日本クラブ・ジュニア・ユース大会と日程が重なり、神戸FCもベストチームを出場させることができなかった。決勝に進出したのは、プロ第2号に認められた木村和司選手を生み育てた広島大河FCと、浜松市中学生選抜チームの浜松FCで、好ゲームを展開したが、大河FCが2-1で浜松を降し、6年ぶり3度目の優勝を飾った。大河FCは、今年は日程の都合で、クラブ・ジュニア・ユース大会に出場しなかったが、高い技術に裏付けされた奔放な戦いぶりは高く評価され、来年度の檜舞台での活躍が期待される。

中1の部は、清水FC対日産FCという夢のカードが決勝で実現した。日産は日本リーグでおなじみの日産FCのジュニアチーム。今春より神奈川クラブの中、高校部を吸収しさらに数百人の応募者の中から選ばれた個性派集団。まさに大人のチームの予備軍。片や清水FCはサッカーどころ清水市の中学生選抜チームと、どちらも負けられない戦い、試合は日産がリードすれば、清水が追うという好ゲームとなり、結局延長に入って体力的に勝る清水が追加点を上げ、3-2と逆転に成功し、見事4年ぶり5度目の優勝を飾った。小6の部は、昨年優勝の藤枝FCが、全日



広島大河FC 中3の部 6年ぶり3度目の優勝



写真提供 共同写真企画 小6の部神戸FC対神戸市選抜戦より

本少年大会大阪府代表になった交野FCを準決勝でPK戦の末破って決勝に進出し、決勝でも、京都の雄、紫光を1-0で降して2年連続3度目の優勝を飾った。

小5の部は、地元神戸FCがよくがんばり決勝に進出したものの、藤枝FCの実力の前に7-0と大敗した。藤枝FCは3年ぶり2度目の優勝。

小4の部は、清水FCが4年生とは思えない戦いぶりで、ポジションに穴がなく安定した戦いを見せ、2年ぶり10度目の優勝を果たした。

なお、今回は、神戸市選抜チームが小、中学生ともに、この大会に向けて周到な準備を重ねて出場した。中3以下の部では1次リーグで清水FCを破ったほか、他のチームも3位入賞を果たし、苦戦した指導者を喜ばせた。

第16回ジュニア・サマー・フェスティバル結果(8月23日〜25日、神戸中央球技場ほか)

【中3以下の部】

①大河FC②浜松FC③神戸市選抜④住北FC⑤清水FC⑥上野FC⑦FCトヨタ⑧那珂川FC⑨兵庫TC・桜宮JrY⑩高槻FC⑪神戸FC

【中1以下の部】

①清水FC②日産FC③枚方FC④愛知FC⑤松原FC⑥住北FC⑦神戸FC⑧交野FC

【小6以下の部】

①藤枝FC②紫光FC③交野FC④上野FC⑤枚方FC⑥大河FC⑦熊本サッカー教室⑧住北FC

【小5以下の部】

①藤枝FC②神戸FC③神戸市選抜④郡家FC⑤神野SC⑥熊本サッカー教室⑦浜松FC⑧住北FC

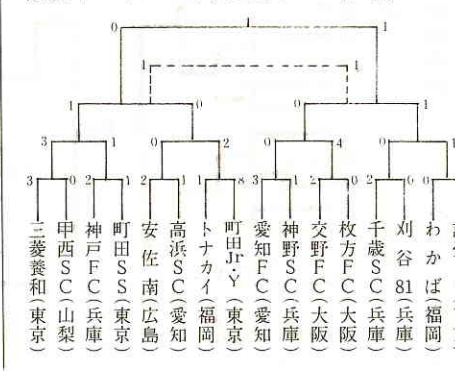
【小4以下の部】

①清水FC②松原FC③神戸市選抜④浜松FC⑤住北FC⑥神戸FC⑦紫光FC⑧刈谷SC

日本クラブJrユース選手権大会関西大会結果 (決勝トーナメント)(1次リーグは略)



日本クラブJrユース選手権大会結果 (決勝トーナメント)(1次リーグは略)



第1回日本クラブ・ジュニア・ユース選手権開催 クラブチームに大きなプレゼント めざせ日本一!

クラブチームの中学生日本一を決める第1回日本クラブ・ジュニア・ユース選手権大会は、8月25日から30日まで、長野県白馬村で開催され、読売クラブが1-0で三菱養和クラブを降し、初代チャンピオンに輝いた。同大会の模様は、東京12ch系のTVで放映され、クラブサッカー界に新しい1ページが記されたことを印象づけた。

兵庫県から全国大会に出場したのは、関西大会を勝ち抜いた神戸FC、千歳SC、神野SCの3チームで、神戸FCと千歳SCが準々決勝まで勝ち進んだが、それぞれ、三菱と読売に敗れた。

同大会は数年前からクラブチームの交歓大会として、愛知県高浜市で行われている高浜クラブカップがきっかけとなり、昨年8月、日本クラブ・ジュニア・ユース連盟(会長二宮洋一氏)が結成され、今年2月の日本協会理事会で正式に認可を受け、今年度から協会主催の公式競技会として行われるようになったもの。開催に当っては、協賛企業および、地元白馬村あげての支援態勢があつてこそ実現できたことを報告しておきたい。

関西大会は初年度ながら、吉川関西協会々

長、森理事長、兵庫県協会の全面的なバックアップで関西協会の主催行事として、7月22日から24日まで、神戸市内4会場で行われた。関西大会には兵庫県4、大阪府6、京都府1、奈良・滋賀県1の代表計12チームが参加して、3チームずつ4組の1次リーグの後、各組上位2チームによる決勝トーナメントを行った。

その結果、決勝は県大会の決勝と同じ千歳SCと神戸FCの対戦となり、今度は1-0で千歳SCが勝って関西大会の初代チャンピオンとなった。3位決定戦は、枚方FCが神野SCと対戦し、1-1の末PK戦で降して3位となった。全国大会へ関西代表の残る一つの座をかけた5位決定戦は、関西実力No.1の交野FCが、底力を見せ、枚方クラブを3-0で破って全国大会へ駒を進めた。

これらの県大会から全国大会への経験は、これまで公式競技会の少なかったクラブチームにとっては、何よりのプレゼント。少年から大人まで一貫指導をめざすクラブチームの良い目標となり、今後中学年代のサッカーの普及にも大いに役立つと思われる。

日本クラブユース連盟理事 加藤 寛

日本クラブ・ジュニア・ユース選手権兵庫県大会 関西大会へ4チーム出場

第1回日本クラブ・ジュニア・ユース選手権大会の関西予選に出場する兵庫県代表チームを決める兵庫県クラブ・ジュニア・ユース選手権大会は、5月18日から7月13日まで、ポートアイランド球技場ほかで行われ、決勝で神戸FCが千歳SCを3-1で降して優勝した。

昭和61年度兵庫県サッカー協会 リーダースクール開催要項

- 主催 兵庫県サッカー協会
- 期 日 昭和61年11月9日より昭和62年1月15日まで
11月/9日、15日、16日、23日、24日、29日、30日
12月/6日、7日
1月/10日、11日、15日
- 参加資格 1. 兵庫県協会登録チームのメンバーで、年齢22歳以上、講習期間中継続して受講できる人。
2. サッカー歴5年以上、又は指導経験2年以上が望ましい。
3. 県内各支部協理長、又は各種別委員会委員長の推薦を受けた人。(支部推薦は2名以内)
4. 兵庫県サッカー協会技術委員会まで適

格と認められた人。

- 受講料 4,000円(リーダー認定試験受験料を含む)
 - 定員 50名
 - 講習内容 講義、実技、指導実習、テキスト
 - 講師 岡村敬 県協会技術委員長ほか県協会技術委員、県審判委員会委員、医事委員会委員。
 - 申込方法 所定の申込書に必要事項を記入し、支部協理長理事又は、種別委員会委員長の推薦印をもらい兵庫県サッカー協会まで送付すること。
- 〈送付先〉
〒651 神戸市中央区八幡通2-1-10 三木記念神戸市立スポーツ会館内 兵庫県サッカー協会
〈締切〉
10月20日必着

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(412)2601
阪神御影駅南側西へ30m

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5-26 ☎078(576)0870
高速大開駅東

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ・トアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック・センター街店 ☎078(332)0141

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

サッカーショップPKF

中央区下山手通3丁目3-10 ☎078(332)5519

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

第37回五大都市体育大会 横浜で開催

第37回五大都市体育大会は7月11日、12日、13日と横浜で開催された。サッカーは三ツ沢球技場で行われ神戸市代表は第1戦を名古屋市代表と戦った。前半3分と15分(PK)に2点を奪われたが、後半15分、小丸の早いゴロのパスを林がシュートして、ゴール。1矢をむいた。

12日、13時からの第2戦では京都市代表と敗者戦を行い、前半26分に失点したが、後半29分からのヘディングパスをリム・ギボンがシュートして追いつく大接戦を展開。PK戦となってGK松岡が4本中2本を止める大活躍。3対1と破って19時45分からの準決勝に進出した。

神戸市代表は昨夜から続いての3戦目なのに対して横浜市代表はこれが初めての試合。そのうえ、横浜はほとんどが日本リーグOBの選手で固めていた。前半35分間を互角に戦い神戸が桜木、小丸と2本のシュートを放ったのに対して横浜のシュートを1本に抑え、体を張って全員がよく守る健闘を見せた。しかし、後半になって3連戦の疲労が色濃く出はじめ、神戸は山名のシュートに対し、横浜は8本のシュートとなって現われた。30分関西の試合ならまず取られることのないと思われるチャージをPKと宣言されて鍵本に決められ、34分には上林からの浮玉を早野にシュートされて0対2となり、同時に試合終了の笛が鳴った。この試合が本大会中で一番見ごたえのあるゲームであったと関係者がもらしていた通りの熱戦であった。

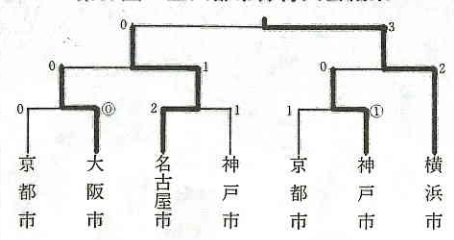
今年の五大都市体育大会には、神戸市代表にはじめて兵庫朝鮮からゴ・ドウオグとリム

・ギボンが参加し大活躍した。リム・ギボンは対京都戦で後半の同点ゴールを決めるとともに、PK戦でも冷静にシュートして対横浜戦進出の原動力となった。

7月11日、15時から横浜文化体育館で総合開会式があり、五大都市体育大会の発展に著しく功勞のあった神戸市協会監事岡村敬氏に秩父宮賞が贈与され、表彰された。

また、神戸市役所にお勤めで灘FC所属の榎原徹夫2級審判員が、11日の大阪、京都戦の線審と12日の名古屋、大阪戦の主審を担当したが非常に良いレフェリングで、審判部の決定で他の上級審判員を押えて、13日11時から決勝戦でも主審をつとめた。

第37回 五大都市体育大会結果



1位 横浜市 2位 名古屋市 3位 神戸市
【神戸市代表】監督 岡本隆英 マネージャー 八木重光 主将 桜木浩二 選手 横田滋 原田健次 松岡泰典 山本伸吾 神田 秀 神原吾郎 山名幸男 小丸俊幸 肝付義孝 桜木浩二 山名幸男 西田豊和 昌子 力 有地広樹 ゴ・ドウオグ リム・ギボン



第26回神戸市中学校 総合体育大会

高倉中2年連続4度目の優勝

神戸市中学校総体サッカーの部は、7月13日から23日までの5日間、総合運動公園サブ競技場を中心に市内6会場で行われた。決勝戦は戦前より評判の高かった高倉と鈴蘭台の対戦となり、気力、体力の充実した高倉がよく走るサッカーで、フォワードを中心に個人技を誇る鈴蘭台を2-1と振り切り、2年連続4度目の優勝を達成した。

▷決勝 高倉 2 {1-0 / 1-1} 1 鈴蘭台

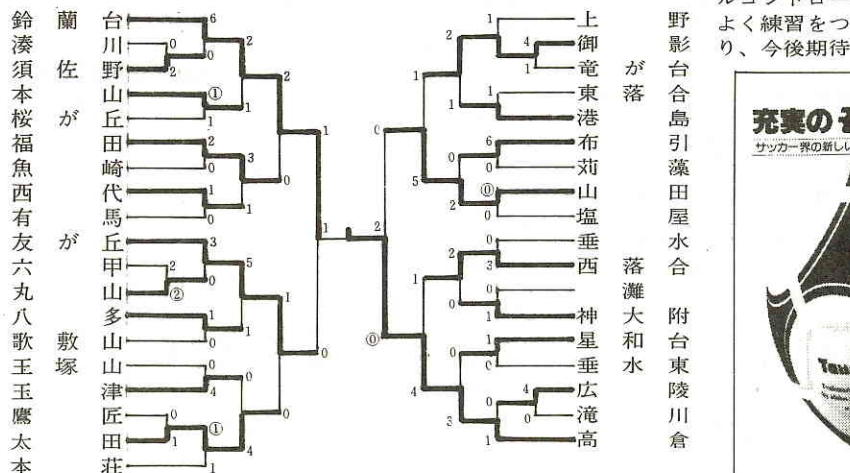
〔評〕試合は高倉が長いロビングボールを前線に出し、それにフォワードが合わせる形で度々ゴールをねらった。一方、鈴蘭台はCF鈴木を中心に個人技を生かした多彩な攻撃でチャンスをつとめた。しかし、両チームとも

守備陣を崩しきれずに一進一退が続いていたが、24分、P・エリヤ附近で鈴蘭台バックスがクリヤーにもつとく間、高倉がよくからみ、ぬけ出してシュートを決めた。

後半開始直後、今度は鈴蘭台がPKを得て鈴木が決めて同点とした。

後半23分、やや疲れが見えだした鈴蘭台ディフェンスの間を、高倉が真中から右へスルーパスを通し、それを右ウイング伊賀林が、ゴールの逆サイドへ見事なシュートを決め、試合を決定づけた。

両チームとも好チームで、見ごたえのある決勝戦であったが、終始自分たちのサッカーの形を崩すことなく、よく走った高倉はすばらしかった。敗れたが鈴蘭台の各選手のボールコントロールは、よく練習をつんでおり、今後期待される。



61年度 国体に兵庫選抜 少年、成年ともに出場を決める

10月12日より17日まで山梨県甲府市で開催される61年度国民体育大会出場を決める近畿地区予選は8月29日、30日、31日、奈良県で行われ、兵庫県選抜チームは、少年、成年の両者とも勝ち進み、本大会に出場を決めた。〈少年男子〉

▷1次リーグ (8月29日)

兵庫県選抜	4	$\begin{pmatrix} 3-0 \\ 1-1 \end{pmatrix}$	1	滋賀
兵庫県選抜	2	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	奈良
滋賀	2	1	奈良	

この結果、兵庫が2勝してリーグ1位となる。

▷決勝 (8月30日)

兵庫県選抜	2	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	京都
-------	---	--	---	----

この結果、兵庫が1位で本大会に出場決定。〈成年男子〉 (8月31日)

兵庫県選抜	1	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-0 \\ 1-1 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	1	奈良県選抜
4	P	K	2	

【少年男子】監督 山根由雄 選手 藤本光信 大浜聖司 文節達三 本街直樹 山中英男 畑 卓司 藤田善浩 金 相煥 牧野景輔 亀谷 誠 南村直彦 片野 透 瀬川 哲 安田憲弘 原 恵司 直田義和 瀬川 哲 以上16名
【成年男子】監督 瀬川善博 選手 福山嘉夫 西田正雄 横田 滋 山本伸吾 神田豊秀 桜木浩二 山名幸男 西田豊和 小丸俊幸 肝付兼泰 原田健次 小丸一志 林 啓大 荒滝光彦 神原吾郎 以上15名

神戸高専近畿大会優勝

第21回近畿高専サッカー大会は、7月21日から23日まで神戸高専グラウンドで行われ、神戸が、昨年と同じく大阪を降して2年連続7度目の優勝を飾った。

近畿大会1、2位の神戸、大阪は8月20日から23日まで仙台で行われた第19回全国高専選手権大会に出場した。神戸は1回戦で昨年度の優勝校(今年度3位)の新居浜と対戦し、前半0-0で善戦したが、後半3点を失って敗れた。

なお、近畿大会では、数年前から関西協会の2級審判講習会に使われており、キビキビした判定し選手の評判もよく、スムーズに試合が進められた点で各校顧問を始め大会関係者から感謝されている。



の横浜対名古屋の主審をつとめる榎原氏

充実のモルテン Tango

サッカー界の新しいスタンダードなパワーボール

MTF&AD Official World Cup Soccer Ball

molten Selected cow-hide Made in Japan

Tango

Official FIFA World Cup Soccer Ball

株式会社 モルテン

広島 / 東京 / 大阪 / 名古屋 / 福岡 / 札幌

日本サッカーに ルネサンスは起こるか? (29)

枚方FC 近江 達

技術なくして 戦術なし

前回、日本選手の戦術的能力が低いのは頭脳を働かせてプレーする習慣がないためだと書いたが、技術もおおいに関係がある。

たとえば、いいことを思いついてやるのだが、技術が下手なために、なかなか思いどおりにいかない。相手の圧迫が少し強いと、シドロモドロになるが対抗するのがやっとなで戦術どころでなくなってしまう。

技術のTPOは戦術のひとつだが、同時に技術あってこそその戦術である。そうしたレベルはまだ戦術以前で、本当に戦術の良し悪しを問題にできるのは圧迫に持ちこたえてプレーしながら頭を働かせることができる選手の場合であり、身につけている技術が高度なほど戦術的対応や工夫ができる余裕を生みだせる。だが残念ながら我が国ではそのレベルの選手はまだきわめて少ない。

スピードノ スピードノ スピードノ

目的が忘れられて、いつの間にか手段が目的化してしまう。開高健

見ていると、そうしたミスはずいぶん多いのだが、案外気にされてないようである。

先日、ある有名サッカー高校へ試合に行ったとき枚方FCからそこに進学した子のプレーを見てびっくりした。タイミングも考えず相手の隙や弱点を探してつくこともなく、とにかくポンポン前へけって走り走る。セントラルトレセンに選ばれた選手だが、一年もたたぬうちに見るかげもなくなっていた。そうしないと先生や上級生に叱られるのだと言う。トップスピードで一気に敵ゴールへ迫るというチームの方針どおりでプレーしていきえすれば、ミスしても大目にみもらえる。

指導者は、練習や試合を繰り返していけば、そのうちミスが減り狙いどおりのスピード豊かなチームプレーに仕上がってゆく、という経験に裏づけされた確信があるから、たいてい気にしないのだろうが、それにしても、かなりのレベルの選手が集り一年中休みなく連日5時間以上練習した成果があつた程度では淋しい。だいいち時間とエネルギーがもったいない。むろんプレーも走るのもチームの攻守も速いに越したことはない。せっかちでイライラする国民性だし、スピードの優劣は誰でもわかる。それで皆スピード狂になってしまうのだが、それもミス多発の原因になっているのである。

以前、我国の一流高校の試合を見たベレは、「サッカーでなく陸上競技だ」と言ったことがあるが、選手たちは指導者やジャーナリストにたえず「スピードノスピードノ」と尻を叩かれているので、つねにトップスピードでプレーしようという急いで無理すぎるために、ボールコントロールやバランスを乱したり、焦りあわててしまつて自滅するケースが非常に多い。

いくら速いのが良いといっても、目的はむ

ろん勝つことでスピードそのものを競うのではないのだから、手段が目的になってしまい、能力以上のスピードでプレーしようとして自滅するのはバカげている。

敵を利することは絶対するな!

他の分野だと、ミスに対してはもっときびしい。たとえば音楽の場合、プロの演奏家にとってミスはむろん恥である。アマチュアでも、子供の発表会は論外として、大人ともなれば、ミスが多い間は人前でその曲を演奏したりはしない。弾きこなせる曲しか弾かない。

その点サッカーは甘い。ミスしても狙いさえよければ構わないし、全力で頑張ったのなら仕方ないよと慰めてもらえる。そこがスポーツのいいところでもあり、何も音楽ほどきびしい見方をする必要はない。だが、それはそれ、これはこれ、今のようミスが多くなって速ければいいんだというのでは、ミスだらけで曲になってなくても速く弾きさえすればいいんだというのと同じであらう。

欧米のプロはミスが少ない。レベルが高いだけでなく状況判断が良く、局面局面で自分の技能で成功するか無理かという見きわめが的確で、未然にミスをさけていくからである。ミスして敵ボールになると、味方の敗北につながるかもしれない。だから決して出来もしないことや無理をしてはならない。こころの勝負どころ以外は良い意味での安全第一主義で、味方に不利なこと、敵を有利にすることは絶対にしないようにしようと集中し、そのためなら手数をかけることもいとわない。回り道もする。

プロなので、ミスは自分の点数を下げるからという計算は当然できる。でも相手がアマチュアでも同じように注意深くプレーするから決してそれだけが理由ではなく、その点、我々の方はいたるところに甘さがみられる。本当に勝たたいのなら、闘志だけでなく、そうした勝敗にひたむきで、しかも冷静な彼らの徹底ぶりも大に見習うべきであらう。

型から入り型を重視する日本式教育

勉強はするものでなく習うもの 塾の広告から

学校やクラブによって選手のプレーやタイプには共通点がある。皆同じに見えたり、見ただけで出身校が当たることさえある。

我国の教育は画一的だと言われているが、中でもスポーツ教育はその筆頭であらう。フォームやパターンを重視して我流や個性的なものを削り、正しいプレーをするよう念入りにきびしく指導するためみんな同じ鋳型にはめこまれ焼きあげられて出てきたみたいになりがちである。

選手の方もそのとおりにしないとレギュラーになるのは難しい。スピードひとつにしてもなまじ個性的にプレーして、指導者が求めているチームとしてのトップスピードや巡航速度をダウンさせたり、リズムを乱したりす

この連載は、雑誌サッカー・ジャーナルに連載されている枚方FCの指導者、近江達氏の随想をサッカー・ジャーナルの好意で転載しております。

「日本サッカーの発展のためにはルネサンスにも匹敵する人間性の解放が必要である」と、近江氏はいうが……。



写真提供 富士 信男

ると、チームからはじき出されてしまう。

理想は画一的の反対で、選手一人ひとりの長所を伸ばし、良い個性を生かし成長させるように、指導者が観察に基づいて自分自身で教程を考察し、たえず工夫をこらしながら指導育成していくことだと思ふ。だがそうした創造的、つまり無から有を作っていくようなやり方にはセンスや才能がいる。向き、不向きもあって、できる人には面白くてやり甲斐があるのだが、できる人には頼るものがないのでとてもしんどい。

そのため一時は理想に燃えても、たいてい途中でいやになって投げ出してしまい、結局、楽な画一的指導に戻ってしまう。もっともそこまで従来の教育に疑問をもつ人はめったにいない。というのは、我国は明治以来、先進国に追いつき追い越せるをモットーに努力してきたので、教育とは先進国の模倣学習のことであり、それしかないと思ひこまされているからである。それで何をしても、独創でなく、すぐに何かお手本を見つけてきて、全面的にそれに頼り、真似る、なぞる。

昔、日本にとって先進国は中国だったので、江戸時代、四書五経の素読というのがあり、「読書百遍意自ずから通ず」とばかり、わけがわからなくてもいいからとにかく繰り返し読んだ。それが当時の学問だったが、フォームやパターンはそうしたお手本みたいなもので、今のサッカーの技術練習を見てもふと剣道の素振りや柔道の投げの型の練習を連想させられることがある。

型の反復練習がスポーツ教育で好まれるのは、これなら頭がいらないし惰性的にこなせる。十分とまではいかなくても、ある程度の成績なら上までいかななくても、ある程度。

本来の狙いはそんな便利さではあるまい。反復によって正しいプレーの仕方を習性化し身体に覚えこませて、どんな場合でも身体が反射的に正しく対応できる選手にすることである。敵のいない練習だけでは臨機応変の戦術的プレー能力は身につかないから、豊富な実戦的練習が絶対必要で、初心者以外はずひこちらを主体にすべきである。

日本選抜対サンパウロ州選抜戦より

モンブランの "スピード" サッカー

基本のプレーを徹底的に追求し、機能性を第一に考えたサッカーシューズ

markam® & Libe/o®

親しまれるサッカーウェア Younger®

MONTBLANC

リアル・スポーツの追求

モンブラン株式会社

神戸・東京・福岡

リベロメイン06

標準小売価格¥9,800